

ごあいさつ

一般社団法人国際アロマセラピー科学研究所は、医療関連法規の遵守を基本として、メディカルアロマセラピーの健全な普及と科学的解釈をすすめる研究所です。

アロマセラピストが安心して精油を使い施術を行うために、伝統的利用法や慣習だけでなく、薬理作用や副作用も含めた作用の科学的な説明が必要とされています。世界中で活躍されているアロマセラピストのみなさんは、1万人と推定されますが、その地位向上のためには、科学的な説明が不可欠なのです。

当研究所のメンバーに参加しますと、会員向けの講習会、研究会参加することができます。また、一定の基準を満たした方はISAメディカルアロマセラピストとして認定が得られます。私たちは資格制度の運営を通じて、アロマセラピストの地位向上を目指します。色々な団体でアロマセラピストの資格を取得されている方も多いと思いますが、その資格を活かして参加することができ、門戸は大きく開かれています。

実は、アロマセラピーや自然療法では、常識のように言われていることの大部分が科学的にはわかっていないか、むしろその説明を科学が疑問視する事例は多いのです。

アロマセラピーの書物の多くは、他の書物からの孫引きが行われていたり、商品のメーカーが発信した情報を鵜呑みにしたりするところから、誤解や間違いが始まっていると思われます。当研究所は、ひとつずつ謙虚にそして真摯にむきあうことで、アロマセラピーの有効性が科学的、あるいは医学的に立証されることを目的としています。

我々とともに、アロマセラピーの科学の研究者として参加してくださることを、こころから歓迎いたします。

一般社団法人 国際アロマセラピー科学研究所
代表理事 市邊昌史





1 医師法等の法令を守り、違法な診断、治療行為や、医療行為と誤解されるような言動をしないこと。
法令遵守

2 書物などで「いわれている」治療方法や薬効を鵜呑みず、生化学的な視点から考えること。
科学的思考

3 精油の構成成分から、その有効性と副作用の可能性を察知し、リスクを未然に防止すること。
リスクの回避

4 クライアントやその家族、医療関係者にたいして、科学的、論理的な説明ができること。
説明責任

ISAの資格制度の概要

ISA 資格制度は、高度な知識と科学的な説明を要する医療現場や、介護現場、エイジングケア、メディカルエステなどの現場で、アロマセラピーが正しく理解され、応用されることを目指して設計された資格制度です。



▼ ISA 資格制度は、次の8種類があります。

ISA認定メディカルアロマセラピスト

MAT：Medical Aromatherapist

メディカルアロマセラピー四原則にのっとりセラピストを目指す資格制度です。
法令遵守の非医療行為内の施術で、クライアントのQOLを改善し、結果としての自然治癒に導く高度なアロマセラピストです。今までのアロマセラピーの資格に物足りなさを感じていた方や、医療関係でのお仕事をを目指す方にお奨めの資格です。
AEAJ アロマセラピスト、IFA または IFPA アロマセラピスト資格取得者は授業の中で免除になる科目があります。免除時間は各資格により異なりますので、最寄の認定校でご相談ください。

受験資格 ①ISA 認定校において、208 時間の所定のカリキュラムに基づき学習したもの。
②AEAJ、IFA、IFPA などの資格者が、認定校において所定のカリキュラムに不足する差分の学習(最低時間 28 時間)をしたもの。

MAT資格認定制度

ISA 認定校にて講習受講

・MAT メディカルアロマセラピストコース

MAT 資格認定試験

MAT 試験合格

ISA 認定 MAT 資格付与

認定証交付

ISA認定メディカルアロママネージャー

MMA：Managaer of Medical Aromatherapy

看護師や薬剤師を対象にした資格制度。医療機関へのアロマセラピー導入のコーディネーターとして、また患者様への応用に取り組む際の管理者として活動していただくための資格です。
トリートメントの手技や施術は、専門のアロマセラピストにゆだねて、そのサービス提供の適合性やリスクなどを管理する立場に回るといのが、現実的であるといえます。
病態的、薬理的な科学的な知識をもって、患者様をアセスメントし、その患者様に対するアロマセラピーの有効可能性や、副作用のリスクなどを管理するわけです。この資格を取得するには、手技の学習が不要であることと、医療関係の資格者は解剖生理学などの学習が不要であるので、42時間の学習時間と、認定試験の合格により取得できます。

受験資格 ISA 認定校において、94 時間の所定のカリキュラムに基づき学習したもの。

受験対象者 医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、柔道整復師、鍼灸師、あん摩指圧マッサージ師、理学療法士、作業療法士などのいずれかの免許をもっている方。

MMA資格認定制度

ISA 認定校にて講習受講

・MMA メディカルアロママネージャーコース

MMA 資格認定試験

MMA 試験合格

ISA 認定 MMA 資格付与

認定証交付

ISA認定アロマコスメティエ

CMT：Cosmetier

精油を使ったアロマプロダクト[※]によりクライアントケアを実践するセラピストを認定する資格です。
クライアントをホリスティックにケアするため、精油の効果効能を学び、皮膚科学や化粧品製造技術をマスターします。
トリートメントを行うセラピーではなく、様々なアロマプロダクトにより、メディカルでホリスティックなケアをしたい方にお奨めです。

受験資格 ①ISA 認定校において、208 時間の所定のカリキュラムに基づき学習したもの。
②AEAJ、IFA、IFPA などの資格者が、認定校において所定のカリキュラムに不足する差分の学習(最低 70 時間)をしたもの。

※アロマプロダクト：なるべく天然の材料を使ってクライアントの状態に合わせて製造した化粧品類

CMT資格認定制度

ISA 認定校にて講習受講

・CMT アロマコスメティエコース

CMT 資格試験

CMT 試験合格

ISA 認定 CMT 資格付与

認定証交付

●専門部位を細分化し、よりプロフェッショナルな技能を認定

ISA認定
ホームアロマセラピスト

ISA認定
アロマセラピスト

ISA認定
フェイシャルアロマセラピスト

ISA認定
フットアロマセラピスト

ISA認定
ヘッド&ハンドアロマセラピスト

ISA認定校開校と認定講師資格の取得について

ISA認定講師制度

認定講座を開講開催する認定校は、ISA 認定講師の資格を有する校長および講師を置く必要があります。

●資格取得手順

- 1 メディカルアロマセラピスト資格の認定
ISA 認定校にてメディカルアロマセラピストコースを受講。
認定試験を受験し、合格後認定を得る。
- 2 植物薬理学 4 日間講座
ISA 主催または共催の植物薬理学講座を受講
受講が難しい場合は、DVD での受講も可能。
- 3 講師トレーニングを受講
ISA 主催の講師トレーニングを受講。
- 4 ISA 講師資格認定試験を受験。
合格後、ISA 講師として認定。



ISA認定校制度

ISA 認定校は、ISA 認定講師が事務局に届けを出すことで開設することができます。

●条件

- ・施設の利用が定期的に可能かどうか。
(利用契約がなされているか)
- ・広さや白板、テーブル、イス、
マッサージテーブル等の設備は十分か。
- ・独立性やプライバシー、
セキュリティは確保されているか。
- ・立地・環境など。



上記を勘案し、適当と認められれば認定校として授業を行なうことが可能です。

《認定校の費用》

1 校当たり年間 1 万円＋税の認定料をメンバーシップ会費とともに納入。
認定校には請求書を発行します。



漢方セルフケア検定の実施

2 級：在宅受験 1 級：会場受験(永年資格)

合格者には合格証を授与します。

<http://www.kampou.org> **ISA 漢方** で検索！

主に漢方薬に関する正しい使い方の普及とセルフメディケーションの推進による社会への貢献を目的に行われています。アロマセラピーや漢方薬を科学的な背景を持って研究、教育活動をするために設立された団体、一般社団法人国際アロマセラピー科学研究所によって主催される検定制度です。

漢方をもっと身近に…

漢方が「難しいもの」から「身近なもの」へ変わる一冊です。



漢方セルフケア検定
公式テキスト

ISA 出版より販売
定価本体 2,800 円＋税

アロマと漢方を科学的に説明していくこと



入会のごあんない



ISA研究会員メンバーシップの取得

ISA では当研究所の趣旨及び活動内容に賛同し、ISA 研究会員としてメンバーシップの取得を希望される方を随時受け付けております。※メンバー＝研究員

●年会費 年度制(入会時期に関わらず、有効期限はその年度の3月まで)

入会金：0円 年会費：2,700円＋保険(任意加入)：3,300円 施術における事故のリスクをカバーします。

アロマセラピストが活躍する世界へ…

コストのかかる過剰な広告、手厚いサービスは控えめに、
会員様から頂く会員費を低く抑えています。

～会員様特典～(非営利事業／会費により運営されるもの)

I インターネットを利用

当協会ではインターネットを利用した情報提供等会費を低料金にするために、事務経費や通信費を小さくしています。そのため、基本的に連絡はメルマガまたは、ホームページ上の告知とさせていただきます。メルマガの内容は、ホームページの内容と同じですので、メルマガの不着がご心配な方は、ホームページをご確認ください。

II フェイスブック等の活用

症例研究や報告、臨床ケースにおける疑問を皆で議論するなどを目的として、メンバー専用のグループを作成し、メンバーに参加いただきます。

III イヤーブックの制作と配布

3月のメンバーシップ更新時に1年の活動や方針を記載したイヤーブックをお届けする予定です。



一般社団法人 国際アロマセラピー科学研究所

〒604-8071 京都市中京区寺町通三条下る永楽町 240 寺町丸美ビル 414

HP <http://www.isa-aroma.com/> Email info@isa-aroma.com FAX 075-320-3513